

修繕や補修にも対応できる 石造り一筋の老舗石材店

納期相談
企画力自信有



自社職人による手加工風景と施工事例（新規製作の墓石（右上）／修繕に携った国会議事堂（右下））

業務内容 国会議事堂の修繕など アフターケアにも対応

「石留石材」は105年の歴史を持つ老舗企業であり、墓石や建築関連石材の加工から施工まで、石を扱う仕事を幅広く手がけている。自然素材の石を使用しているため、内部に傷が潜んでいるものもあり、加工時に不測の事態が発生することもある。しかし長年蓄積された技術と経験、そして自社加工工場により迅速な対応ができることで、顧客から厚い信頼を得ている。加工・施工だけでなく、経年劣化や破損などの修繕・補修といったアフターケアにまで対応。国会議事堂の大規模修繕にも携わった実績を持つ。

強み 造る・据える・護る技術で トータルサポート

販売専門・施工専門といった石材店が多い中、「造る技術」「据える技術」「護る技術」すべてを兼ね備えていることが同社の強みだ。平成30年に発生した大阪府北部地震や台風21号で被災した墓石などの補修でも、同社の「護る技術」が腕を振るった。「造る技術」では「切る」「彫る」「磨く」という石材加工作業を、近畿圏でも珍しい敷地面積2,500㎡超の大規模工場で一貫してできることが特徴であり、高品質の石材加工品を短納期で仕上げるのが可能。さらに「据える技術」では、高野山（和歌山県伊都郡）や金峯山寺（奈良県吉野郡）をはじめとする世界遺産や四天王寺、住吉大社など著名な神社仏閣の新規・移築・修繕工事を多数手がけてきた実績があり、同社の技術レベルの高さをうかがい知ることができる。

加工技術 石造りの匠の技と 最新技術が同居

墓石などの加工には細かい手作業が重要で

あり、熟練した技が求められる。同社では高度な技術を持つ7名のベテラン職人がそれらの技術力を支えている。各種認定や資格取得への取り組みも熱心で、田中祥元社長自らが石造りの最高権威である「石匠位」の認定を受けているほどだ。

一方、石材加工品の設計から請け負い、営業職を兼ねる設計者が顧客と意思疎通を図りながら形状などを提案する。設計ではCADを活用し、最近では精度の高い彫刻ができるレーザー加工機の導入にも踏み切った。このように「匠の技」と最新技術が同居している点も特筆される。

今後の展望 レーザー加工機で 用途拡大も予想

墓石や神社仏閣における建築石材などの修繕はコンスタントに需要が続くとみられるが、今後はビルやマンションなどの内装石工事に大きな伸びを期待している。特にホテルや大規模マンションのエントランスなどは高級感を出すために石材を使うケースが多く、同社の技術を生かすことができる。

また、導入したばかりのレーザー加工機は微細な彫刻ができるため、写真を転写するようなイメージで石材加工品の表面を仕上げることも可能だ。それにより、墓石や記念碑などへの用途拡大も期待される。



新たに導入したレーザー加工機



手持ち機械による研磨作業

当社の歴史



大正3年に曾祖父の田中留吉が、西国三十三所第五番札所である葛井寺（ふじいでら）の門前で創業し、現在5代目となります。当初は葛井寺の墓石などを手作業で造っていましたが、ダイヤモンドカッターの登場など技術革新に対応し、どのような注文にも応えられる体制を整えてまいりました。

代表取締役 田中 祥元さん

<http://www.ishitome.jp/>

主な事業内容

墓石など石材の加工・施工
および修繕・補修

主な取引先（納入先）

個人、神社仏閣、ゼネコン、
工務店

- 住 所 〒583-0037 藤井寺市 津堂2-9-29
- TEL 072-953-5577
- FAX 072-953-5579
- 創業 大正3年4月
- 設立 昭和34年7月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 17名